

令和元年度 全国学力・学習状況調査について

平成31年4月に、6年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査の結果の概要をお知らせします。

教科別学習状況調査結果

小学校「平均正答率 (%)」

	国語	算数
本校	67	66
横浜市	63	69
神奈川県	61	67
全国	63.8	66.6

◎本校は、国語については、全国、神奈川県、横浜市の平均を上回っています。算数については、全国、神奈川県の平均とほぼ同じ、横浜市の平均からは下回る結果となりました。

生活習慣・学習習慣（質問紙調査結果）

※国語・算数の平均正答率の平均値

	横浜市				「当てはまる」と答えた児童の割合 (%) 本校
	国語		算数		
	「当てはまる」と答えた児童の正答率 (%)	「当てはまらない」と答えた児童の正答率 (%)	「当てはまる」と答えた児童の正答率 (%)	「当てはまらない」と答えた児童の正答率 (%)	
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	71	45	75	53	85.9
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思う。	71	49	75	57	75.5
話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	68	50	73	57	82.5

- ・いずれの項目についても、「当てはまる」と回答した児童の各教科の正答率が、「当てはまらない」と回答した児童に比べ11~26ポイント高くなっている。
- ・「授業では、課題の解決に向けて、「自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」という問いでは、「当てはまる」と答えた児童の正答率は、「当てはまらない」と回答した児童に比べ、19~26ポイント高くなっており、他の2項目に比べて差が大きい。
- ・「授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表していたと思う」という問いでは、「当てはまる」と回答した児童の正答率は「当てはまらない」と回答した児童に比べ、16~22ポイント高くなっている。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」と回答した児童の正答率が「当てはまらない」と回答した児童に比べ、11から18ポイント高くなっている。

※本校では、授業で学習したことが将来役に立つと思っている児童や、学習したことを普段の生活で活用しようとしている児童が多いことが分かりました。自ら進んで学習することで学習も伸びていくこともこの質問紙から分かります。これからも子どもたちの意欲を大切に学習を進めていきたいと思ひます。ご家庭でも、お子さんと家での学習について一緒に考えてみる機会にして頂きたいと思ひます。